

事業概要説明シート

事務事業番号 10401280004

事務事業名	民生委員研修事業 (中核市移行に伴う新規事業含む)		類似事業 グループ	21.育成
事業期間	昭和49年度 ~	担当部署	健康部 健康総務課	
総合計画体系	(施策目標) 地域における支えあいの輪をひろげる			
公約	行政改革 実施プラン	質疑 意見等	(市議会)	(監査委員)

根拠法令	民生委員法第18条、民生委員児童委員実務研修事業実施決裁、主任児童委員連絡会研修事業実施決裁
------	--

実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:枚方市民生委員児童委員協議会及び社会福祉法人大阪府社会福祉協議会) <input type="checkbox"/> その他()
------	--

目的 (何のために)	厚生労働大臣から委嘱された民生委員・児童委員が社会福祉の増進を図ることができるよう、人格識見の向上と知識・技術の修得を目的とした研修を実施する。
---------------	--

対象 (誰・何を対象に)	民生委員・児童委員及び主任児童委員
-----------------	-------------------

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市民生委員児童委員協議会に委託し、民生委員・児童委員及び主任児童委員に対して、福祉施設の視察や福祉制度についての勉強会など各種研修を実施する。 ・社会福祉法人大阪府社会福祉協議会に委託し、民生委員法第18条に基づき、民生委員・児童委員に対して、社会福祉法人大阪府社会福祉協議会大阪社会福祉研修センターが実施する指導訓練に係る研修を行い、民生委員・児童委員の資質向上を図る。
------	--

目的が同種の事業 (国・府・市・民間)	民生委員法第18条に基づき、大阪府が指導訓練に係る研修を実施している。中核市移行に伴い、大阪府から権限の委譲を受け、平成26年度から本市で指導訓練に係る研修を実施している。
------------------------	--

事業の必要性	住民の立場に立って相談・援助を行い、社会福祉の増進に努める役割を担う民生委員・児童委員の資質向上を図るため、行政として実施しなければならない事業である。
--------	--

コ ス ト		H25年度決算		H26年度決算		H27年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.13人	1,028千円	0.04人	318千円	0.04人	318千円	
再任用職員		0千円		0千円		0千円	
非常勤職員等							
人件費計(A)		1,028千円		318千円		318千円	
直接経費(B)		3,988千円		4,302千円		4,303千円	
総事業費(A+B)		5,016千円		4,620千円		4,621千円	

財源内訳		H25年度決算		H26年度決算		H27年度当初予算	
国庫支出金			千円	2,151千円		2,151千円	
府支出金			千円			千円	
受益者負担 (使用料等)			千円			千円	
その他			千円			千円	
一般財源	5,016千円		千円	2,469千円		2,470千円	

平成26年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容	金 額
	民生委員実務研修委託料	4,037千円
	民生委員・児童委員指導訓練研修委託料	183千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10401280004

事務事業名	民生委員研修事業 (中核市移行に伴う新規事業含む)		類似事業 グループ	21.育成
事業開始年度	昭和49年度 ~	担当部署	健康部 健康総務課	

活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H25年度	H26年度	H27年度(見込み)
	① 民生委員・児童委員及び主任児童委員の研修の実施回数	回数	78	97	100
	② 民生委員・児童委員及び主任児童委員の研修の出席率	%	86.9	90.2	91.0
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費÷民生委員・児童委員及び主任児童委員の研修の実施回数	円	64,308	47,629	46,210
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	厚生労働大臣から委嘱された民生委員・児童委員が社会福祉の増進を図ることができるよう、人格識見の向上と知識・技術の修得を目的とした研修を実施することで、民生委員・児童委員の資質の向上を図っていく。				
成果目標 達成状況	民生委員・児童委員及び主任児童委員の研修の実施回数は、事務事業実績測定目標値を上回っている状況にある。			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	なし				
事業のPR	なし				
市民満足度	把握していない				
特記事項					

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	民生委員活動及び主任児童委員活動に必要とされる事項について継続して研修を実施し、民生委員・児童委員の資質の向上を図る。
一次評価結果	・一次点検の方向性に異論なし	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		

事業概要説明シート

事務事業番号 10102050009

事務事業名	飼い犬等の不妊・去勢手術費補助事業	類似事業グループ	7.補助金事業
事業期間	平成6年度 ~	担当部署	保健衛生課
総合計画体系	(施策目標) 良好な生活環境を確保する		
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) (監査委員)

根拠法令	枚方市飼い犬等不妊手術費補助金交付要綱
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	犬・猫の飼い主等に対し、不妊手術に要する費用の一部を補助することにより、犬・猫の繁殖を抑制し、管理及び愛護についての意識の高揚を図る。
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	登録している飼い犬等の不妊手術を実施した者からの申請に基づいて、補助金を交付する。 (平成27年度補助件数及び金額: 犬150頭 1頭5,000円 猫570匹 1匹3,500円)
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	なし
事業の必要性	犬・猫の繁殖を抑制し、管理及び愛護についての意識の高揚を図るとともに、地域環境の保全に資するため、行政として実施しなければならない事業である。

コスト												
	H25年度決算				H26年度決算				H27年度当初予算			
	従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
正職員	0.11	人	870	千円	0.11	人	873	千円	0.11	人	875	千円
再任用職員		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円
非常勤職員等	0.1	人	138	千円	0.1	人	134	千円	0.1	人	165	千円
人件費計(A)			1,008	千円			1,007	千円			1,040	千円
直接経費(B)			2,750	千円			2,750	千円			2,750	千円
総事業費(A+B)			3,758	千円			3,757	千円			3,790	千円

財源内訳												
	H25年度決算				H26年度決算				H27年度当初予算			
国庫支出金	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
府支出金	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
受益者負担(使用料等)	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
その他	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
一般財源	3,758	千円	3,757	千円	3,790	千円						

平成26年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容		金 額
	不妊手術費補助金		2,750 千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10102050009

事務事業名	飼い犬等の不妊・去勢手術費補助事業	類似事業グループ	7.補助金事業
事業開始年度	平成6年度 ~ 0	担当部署	保健衛生課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H25年度	H26年度	H27年度(見込み)
活動実績	① 犬に対する補助件数	頭	200	200	150
	② 猫に対する補助件数	匹	500	500	570
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費÷補助件数	円	5,171	5,176	5,035
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	不妊手術費補助金を交付することにより、無責任な餌やり等による所有者不明猫の繁殖を抑制し、糞尿被害等猫に関する苦情件数を減少させる。 平成27年度の単位当たりコストは、全体の補助件数の増加を見込んでいるため低減したものである。				
成果目標達成状況	平成26年度 猫苦情件数119件			目標達成度	目標を下回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	平成26年度 猫苦情件数 高槻市 132件 豊中市 313件				
事業のPR	「広報ひらかた」紙面や本市ホームページへのPR記事の掲載、エフエムひらかた等のメディアを活用している。 また獣医師の協力を得て、あらかじめ動物病院に対して不妊手術費補助金申請書を配布しており、受診や不妊手術を実施するために動物病院を訪れた市民に対する周知及び利便性にも配慮している。				
市民満足度	補助件数枠に達するため、市民満足度は高いと思われる。				
特記事項	不妊手術費補助金申請の受付を7月から開始している。 平成26年度に関して、犬は7月中、猫は10月中に補助件数に達している。 猫に関する苦情や子猫の引取り依頼が後を絶たないことから、平成27年度には猫への補助件数の割合を増加させた。 年度別補助件数 平成24年度 犬200頭 猫300匹 平成25年度 犬200頭 猫500匹 平成26年度 犬200頭 猫500匹				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	犬と猫に対する補助件数の見直しについてさらに検討を行う。
----------------------------------	----	------------------------------

一次評価結果	・近隣市の状況も参考に、事業内容を再検討しては。
--------	--------------------------

二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	
----------------------------------	--